

淀川区区政会議 第1回コミュニティ力向上部会

日 時：令和7年9月18日（木）

午後6時30分～午後7時54分

場 所：淀川区役所 6階会議室

○瀧谷政策企画課担当係長

皆様、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまより令和7年度淀川区区政会議第1回コミュニティ力向上部会を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課担当係長の瀧谷です。よろしくお願いいたします。

委員の皆様には、御多忙のところ御出席いただき誠にありがとうございます。

委員の皆様、傍聴者の皆さまに御案内させていただきます。本日の会議は公開となっております。議事録などの作成のために録音をさせていただきます。また、本日の会議の様子はYouTubeを通じまして配信をしておりますので、御了承のほどお願いいたします。

なお、携帯電話、スマートフォンは、音が出ないようにマナーモードに切り替えていただきますようお願いいたします。以降は着座にて進行させていただきます。失礼します。

それでは、お手元の資料を確認させていただきます。

配付資料一覧を御覧ください。

まず、委員名簿及び座席表、これは両面になっております。それから、資料1、淀川区将来ビジョン2029（素案）、それから資料2、新北野地区防災計画、冊子になっているものです。それから資料3としまして、区政会議における御意見への対応

方針です。当日配付資料としまして、よどマガ！９月号、それから御意見票、淀川区
区政会議日程調整表、この日程調整表は、次期区政会議委員として引き続き御就任い
ただく方にお配りさせていただいておりますので御了承ください。それから、皆様に
返信用封筒もお配りしております。

以上となりますが、資料の足りない方いらっしゃいましたら挙手をお願いいたしま
す。皆様よろしいでしょうか。ありがとうございます。

本日、杉原委員におかれましては、欠席と御連絡をいただいておりますので、よろ
しくをお願いいたします。

現在、区政会議委員の皆様９名中、８名の方が出席されております。定数の２分の
１以上の委員の皆様が出席されておりますので、会議が有効に開催されていることを
御報告させていただきます。

なお、区役所の職員の紹介につきましては、時間の都合上、省略させていただいて
おります。座席表に職員名と役職を記載しておりますので、御参照のほどお願いいた
します。

本日の終了時間ですが、午後８時終了をめどに考えておりますので、何とぞ皆様、
御協力のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の２以降につきましては、議長、副議長に会議を進行していただき
たいと存じますので、山本議長、よろしくお願いいたします。

○山本議長

皆様、こんばんは。本日、議長を務めさせていただきます、三国地域の山本です。
どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですけれども、次第２の議題１、将来ビジョン２０２９（素案）についてとい
うことで、これを区役所より説明のほうよろしくお願いいたします。

○米田政策企画課長

皆様、こんばんは。政策企画課長の米田でございます。

淀川区将来ビジョン2029につきまして、説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

お手元の資料1、淀川区将来ビジョン2029の素案を御用意いただけますでしょうか。

資料1を1ページおめくりいただいて、右下に1とあるページを御覧ください。

まず、将来ビジョンについてでございますが、平成24年から大阪市の全区で策定が始まったものでございまして、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上での中期的な理念として、地域としての区のめざすべき将来像、その将来像の実現に向けた施策展開の方向性などを取りまとめまして、区民の皆様にも明らかにするというものでございます。このビジョンのアクションプランとして、毎年運営方針を作成しまして、具体的な施策を実施するという仕組みになっております。

淀川区では、現在、令和4年度から令和7年度までを計画期間としました淀川区将来ビジョン2025に基づきまして取組を進めているところでございますが、今回新たに計画期間を令和8年度、来年度である令和8年度から令和11年度までの4年間として、淀川区将来ビジョン2029の策定作業を進めているところでございます。

今年度、新たに就任された古川区長の下、淀川区の将来像「心豊かに 安心して暮らせるまち 淀川」をスローガンに、区政会議の場で委員の皆様の御意見をいただきながら、将来ビジョンをつくり上げてまいりたいと考えております。

なお、このビジョン策定までのスケジュールでございますが、本日を含めまして今月中に、区政会議の3つの部会におきまして、それぞれ将来ビジョン2029の素案について御意見をいただくこととしております。いただきました御意見を基に検討を加えた案を11月下旬ないし12月上旬に予定しております区政会議の全体会議で示しし、また別途、来年1月にパブリックコメントで広く一般の方々の御意見をいただきまして、令和8年4月の策定、公表を予定しております。

資料1の説明に戻りまして、資料1を1ページめくっていただいて2ページを御覧

ください。

2 ページには、将来ビジョンの計画期間を示しております。令和 8 年度から令和 11 年度が、この将来ビジョン 2029 の計画期間となります。

3 ページ、4 ページには、淀川区の概況について記載しております。

5 ページには、先ほど申し上げました区のめざす将来像「心豊かに 安心して 暮らせるまち 淀川」と、その将来像を実現するための 3 本柱としまして、「安全・安心に暮らせるまちづくり」、「誰もが健やかで子育てや教育環境が充実したまちづくり」、「人々のつながりのにぎわいや魅力あるまちづくり」を掲げております。

本日、このコミュニティ力向上部会の皆様に御意見をいただきますのは、3 つ目の柱「人々のつながりのにぎわいや魅力あるまちづくり」についてでございます。

資料 1 の 14 ページ、「地域コミュニティの活性化」という部分、それから 15 ページ、「魅力的なまちづくりの推進」、この 2 つのスライドの部分となります。

皆様がこれまで培ってこられました御経験や知識を元に、率直な御意見をお聞かせいただけますよう、お願い申し上げます。

先ほどの（１）の「地域コミュニティの活性化」の詳細につきましては、市民協働課より説明させていただきまして、（２）の「魅力的なまちづくりの推進」、の詳細につきましては、後ほど私から説明をさしあげます。

それでは、吉國課長、説明をお願いします。

○吉國市民協働課長

ページが 14 ページのほうになりますので、よろしいでしょうか。

市民協働課長の吉國です。よろしくお願いいたします。

施策展開の方向性、3 「人々のつながりのにぎわいや魅力あるまちづくり」、（１）地域コミュニティの活性化。

現状と課題。転出入が多く、20 代から 30 代の単身者が多いことから、御近所同士のつながりが希薄となっています。地域特性に応じた自律的な地域運営のための支

援を行っていますが、活動の担い手の固定化と高齢化が課題です。

主な施策。若い世代に向けた地域活動の情報発信を強化し、身近な地域活動への参加を促進します。地域が抱える課題の解決に向け、中間支援組織、まちづくりセンター等との連携による地域特性に応じた支援を行います。企業、学校、NPO等と地域活動協議会等の連携を支援し、地域活動を活性化させるとともに、活動の担い手の裾野を広げます。

めざす状態。淀川区内の各地域の活動が、多様な世代の参加・参画により活発に行われてる状態。

以上となります。

○米田政策企画課長

改めまして、政策企画課の米田です。

資料1の15ページ、(2)魅力的なまちづくりの推進につきまして、説明をさせていただきます。

まず、現状と課題のところです。少し背景を説明させていただきます。現状、元区役所跡地におきましては、新しい淀川図書館を含む複合施設、ジオタワー大阪十三ですけれども、この建設が進められておりまして、この2階部分に淀川図書館が移転する予定となっております。ジオタワーの総住戸数も712戸ということで、このエリアへの人口の流入が見込まれるところです。また、淀川河川敷の十三エリアにおきましては、「かわまちづくり」という国の制度を活用しまして、堤防部分への盛土とか通路の舗装など、国からの支援も得まして、屋台エリアやバーベキューエリアなど、にぎわい事業のための整備を進めているところです。現在はバーベキューエリアが先行オープンしているという状態ですけれども、こちらでも整備が進みまして屋台等がオープンしましたら、多くの人々に訪れていただけて、ますますにぎわうと見込んでおります。

一方で、現状と課題のところ、新大阪の辺のことも書かせていただいているんです

けれども、もともと十三駅は阪急の3路線が乗り入れる利便性の高い駅です。新大阪駅も新幹線とJRの在来線、メトロが乗り入れる交通利便性の高い駅です。こういった2つの利便性の高い駅が新大阪連絡線でつながり、今計画されている北陸新幹線とカリニア中央線とかの新大阪駅への乗り入れやなにわ筋線が完成すれば関空にもつながりますので、大阪市周辺とか国内だけじゃなく海外からの人々もますます集まることが見込まれる。このように非常に高いポテンシャルを淀川区というのは持っているというところを現状と課題のところに書かせていただいております。

このポテンシャルを生かしてまちづくりを進めることが必要と考えておりまして、主な施策のところですが、民間事業者等と連携し、淀川河川敷十三エリアのにぎわい創出事業、屋台エリアのオープンですとか、3月に整備されました船着場を利用した舟運事業など、民間事業者と連携して、十三エリアの魅力向上を推進します。また、新大阪駅の周辺地域全体のまちづくりの活性化をめざして、国が設置した新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会のもとに、検討会があるんですけども、そういったところに参画するとともに、情報発信に取り組んでまいります。

こうした施策によりまして、めざす状態としましては、この将来ビジョンの計画期間である令和8年度から11年度におきましては、淀川河川敷エリアなど十三エリアの魅力向上が推進され、新大阪駅周辺地域全体のまちづくりの活性化に寄与している状態をめざしてまいりたいと考えております。

説明は以上です。

○山本議長

米田課長、吉國課長、どうもありがとうございます。御説明ありがとうございます。

議題1、将来ビジョン2029（素案）についてということで、このコミュニティ部会として本日が最後の部会となりますので、活発な御意見をお願いしたいと思います。

先ほど説明がありましたように、この将来ビジョン、カラー版のやつですね。これ

の全体構成がどうかということと、我々コミュニティ部会ですので、14ページ、15ページ、14ページの地域コミュニティの活性化、そして15ページの魅力的なまちづくりの推進ということを中心に御意見を発言していただきたいと思います。

どなたか御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。最後なので、みんな一言ずつでも何か言っていただけたらなと思っております。

西垣さん、お願いします。

○西垣委員

以前もちょっとお話しさせてもらったことがあるんですけども、マンションが増えてきたりなんかして、その住民同士のつながりが少なくなってきたのは、僕も十三で70年ぐらいおるけれども、ほんまに昔やったら、おしょうゆ貸してやとか何か分けてと言うたらね、皆さんと横のつながりがあったんですけど、今は、もうこれだけ個人の所得が増えてきて、やっぱり横のつながりが減ってきてる分だけ、僕の近くのところでも、住まわれてる中のマンションだけやったら、お話ししないほうがいいからマンションに住むよという方もおられる状態になってきてるんで、そこら辺で、もうひとついい区からのビジョンがあればいいかなと思ってしておるんで、それだけです。

○山本議長

西垣さん、ありがとうございます。御近所同士がかなり希薄になってきているということをおっしゃってるんだと思うんですけども、区のほうでもその町会加入促進とか、いろいろ努力はしていただいていると思うんですけど、なかなかうまくいってないのが現状だと思います。

続きまして、どなたか御意見ございますでしょうか。

森さん、お願いします。

○森委員

森です。いつもお世話になります。私いつもこの会議で言うんですが、淀川区に住

んでよかったな、住民の方からの声が一人でも多く、そういう声が聞ける区になってほしいなと。そのために私もここに参加させていただいた理由の一つなんですけどもね。近所のお母さんたちに聞くと、あんまり関心持って見てくれてないというか、ほんで、よどマガ！読んでいただいていますか言うたら、「はい、見てます。」とは言っているんですけども、もっともっと普及さす必要あるかなと。

一番気になるのは、やはりこの淀川区の中心のまちである十三ですね。十三と、それから淡路までの間のこの都市再生期間ういかね、この法律のある間に、あるいは資金も援助していただける範囲の間に早く完成させてほしいというのは、十三駅を今のままにしてたら、南北ういか東西ですね。東西が駅で分断されてると。くぐる小さい地下道みたいところで、ああいうふうな1つだけでまち2つを分断してるから、あれをフラットにしてほしいんですよ。そしたら車椅子の人でも楽に往復できるわけで、それが今現状で見てたら車椅子の人がちゅうちょしてるんです、あそこでね。上れるかなとか。私時々自転車であれ上ってみるんです。なかなか一気に上がるのは難しいです。やはりフラットにすべきやな。そのためには阪急さんにも協力していただいて、駅を高架にする必要があるんです。だから阪急十三駅の高架と、その淡路までの間をどうつなぐか、これが大きい課題で、1年、2年でできるとは思ってませんが、私の生きてる間にできるのかなというのが、私この10年間ぐらいの間にいつも考えてたことなんですけど、案は出てるようですが実行はされてません。だから考えてるけど実行せえへんねんて、考えてないのと一緒になります。やはり少しでも進んでる形が見えたらうれしいなと。特に住民としては、あの十三駅周辺がリフレッシュされたり、年寄りの人でも自由に安心して往復できるなというような駅にしていだきたい。これぜひ区役所の皆さん方に、この5年か10年かかるか分からんが、ぜひ実現していただいて、私が生きてる間にそれが見えたらありがたいなといつも思っております。

○山本議長

森さん、ありがとうございます。十三駅で南北が分断されてると、東西に行けない。

アンダーパス通って行かなあかんという、そういうことですね。一つの案として高架というお話が今出てましたけれども。

○森委員

そう、そないにくぐって。あれがフラットになったらどんだけみんなが、年寄りにとってもありがたいことです。

○山本議長

結構、皆さん思ってることだと思いますね、確かに。そういうことも踏まえまして、今後のそういうビジョンを掲げていただきたいなと思いますね。

そうしましたら、西岡さん、何か御意見ございますでしょうか。ないですか。何か一言でも。

○西岡委員

長い間いろいろ地域の行事とかあって参加するのが久しぶりなんですけども、一応コミュニティ力向上ということで今施策の方向性というのを見たんですけども、皆さん同じ悩みを持ってはると思いますけど、うちは盆踊りとかいろんな行事はするんやけど、することに対して参加する若い人はたくさんいるんですけど、それは逆に計画というとかそういうほうに回る人が少ない。

○山本議長

最初の準備とか、そういうこと。

○西岡委員

そうそう、準備とかね。そこにどうやって入れて、入ってきて引き込むかというのは、もう昔からずっと課題で、全然解決しないというのがずっとですね。

あと、十三エリアのにぎわいあるまちづくりのところで僕ずっと思うとったんですけど、バーベキューエリアがオープンしてるとかいうのを初めて知ったんですけど、ずっとよくあそこの前を通るんですけど、あそこに屋台ができるというので、もう大分前から万博に合わせてやるとかいうのでずっとそのまま放ったらかしになってて、

堤防に草がぼうぼうになって、知らない間に刈ってはって、その繰り返しがずっと続いて、もう万博終わるのになあと思いながら、あそこから船が出て万博まで行くんちゃうんかったかなとか思ったりというのがそのままになってるから、あのお金どないなってんやろうとかって思いながら、屋台つくるところ、きれいに舗装してやってはりましたよね。あのときの工事からずっと見てるんですけど、あれからどうなったんかなというのがちょっとだけ疑問に思いました。

○山本議長

西岡さん、ありがとうございます。私も船着場行ったんですけど、船券買うような建物か何かあるのかなと思ったら何にもなくて、護岸きれいに整備しただけみたいな状態でしたですね。発着時刻とかそんなんも表示ないですし、いつ船来て誰が乗って何してんのかなという、そういうことがありますね、確かに。ありがとうございます。

そうしましたら、お隣の西尾さん、お願いします。

○西尾委員

西尾です。私もいつも思ってるんですけど、とにかく一つ一つの地域が離れているかな、気持ちですね。気持ちの問題で。全然やっぱり皆さん大変やと思うんです。今若い人が集まらなくて。うちなんかでもお祭りするのに、今までだと、私たちがもっと若いときですね。四、五十のときはいっぱい人がいたんですけど、みんなその人たちが高齢化しまして体がくたびれてきたというのもありますし、子どもさんたちが、今共働きをされる家庭が多く、土日は家族だけで楽しみたいとかいう方が特に多くなってると思います。今回は夜店のときに人が足りないので、この新北野で育った子どもたちの友達を呼んでもらって、その子たちに大分助けてもらいました。でもその子たちが新北野に住んでるわけでもないんですけども、やはりそういう若い力を呼び込むことが大事やなというのを、この夏は特に感じたところです。以上です。

○山本議長

ありがとうございます。だんだん、今従事してる方も年だけ取って行って、なかなか思うように体が動かないということですね。若い人とか企業さんとか、西尾さんの地域ちょっと分かんないですけど、専門学校みたいなところがあれば、そういうところから応援をお願いするとか、そういうのも一つの手ですね。ありがとうございました。

続きまして、鈴木さん、お願いします。

○鈴木委員

鈴木です。よろしくお願いします。私から2点なんですけれども、今のお話に続いて、出ていたイベントの担い手が足りないということなんですけれども、私たちの西三国とか東三国の地域は、若い方とか学生さん、小学校の子どもたちの協力もとても多い地域で、とてもにぎやかにさせてもらってるのかなと思って感じて聞いてました。それも、子どもたちが楽しく参加できるようなイベントづくりであったりだとか、日頃からいろいろな小さなイベントでも催してることによって、子どもたち同士とか開催者のほうが顔見知りになって、いろんなことができるというところと、あと、やってみたいことを実現してあげてるようなことは感じました。

2点目なんですけれども、ビジョンを見ておきまして気になったのが交通の便なんですけれども、4ページと15ページにもあると思うんですが、淀川区の外からのアクセスというのはすごく便利になってきて、淀川区に人を取り込むというところは重点的に書かれていて、何か大きいものができれば淀川区に人を呼び込めるのかなというのは思ったんですが、その一方で、区民に対しての交通の便利性、利便性があまり何も示されていない。今、淀川区が十三のところで分断されているとかいろんなところであるんですけど、やっぱり加島まで、例えば西三国から加島まで行こうと思ったらすごく便も悪いですし、区役所に出ていこうと思っても1時間に1本のバスしかないとか、そういうところで住民の交通の不便性というところがちょっと置き去りにされてるのかなと思ったので、そちらは区役所としてはどのように持っていきたいのか

なと思って聞いてみたいです。

○山本議長

僕が答えることじゃないんですけど、コミュニティバス、今社会実験でやって、そういうことをなくそうとしてやってるのかなとは思んですけど。後でまた聞いてください。

大屋さん、行きましょうか。

○大屋委員

今、鈴木さんがおっしゃったように、同じ地域なんです。

○山本議長

西三国ね。

○大屋委員

はい。町会は違いますけれども。私どもの地域は区画整理が進んでおりまして、空地、空き家、随分多くなりました。その空地のところに、古いお家が壊れて新しいマンションが建つ。ところがみんなワンルームマンションなんですね。独居というか若い方たちが、単身の方がすごく多いんですね。どんどんそういうふうに10階建てとかという高層のマンションが建つんですけども、入っておられる方はお一人の方ばかりで、御結婚なさると出ていかれるんですね、このまちから。そういうのがなくなればいいなっていうふうに今思ってますけれども、建つところ建つところみんな狭い土地のところにすごい高いマンションが建って、みんなその世帯というか、51棟で五十何軒入りますよって言っても、みんな単身者の方。やはりそういうのがこの淀川区の現状なのかな。本当に便利なんですね。新大阪にも近い、地下鉄にも近い、阪急沿線にも近いと、それこそ新幹線、それから飛行機に乗るにしても便利な場所です。なので、単身者にとってはすごい住みやすい場所なんですけれども、やはり世帯でというか家族で住めるような場所がもっともっと増えていけばなっていうふうに思っております。

現状として、私どもの地域は、やはりその区画整理によって、以前から住んでおられた町会の役員さんとか、それから町会になじみの深い方とかっていうのがみんな出ていかれて地域に残ってないわけですよ。旧の渡邊邸という立派なお屋敷があったんですけども、そこが壊れて、今1軒なくなって33軒の建売が建ったんですね。そこに若い世帯の方がたくさん入ってこられて、その方たちと、それから建売を、区画整理で移動なさって若い世帯の人たちはまだそのままこの地域に住み続けておられるんですけども、その方たちが皆さん、小学校のPTAの役員さんなさってて、それこそ町会に入ってください、役員してくださいっていうふうにお一人ずつお声かけさせていただいて、今、40代、50代、それから60代が僅かな。70代が2人か3人で、本当に若い方たちがその町会運営に携わってくださってるんですね。そうしたら2年に一遍レクリエーションと銘打ってバス旅行に行ってたんですね、日帰りの。ところが、そのバス旅行に行くにしても、来られる方がみんな高齢者の人ばかりだったのが、その高齢者の人たちがこの地域には住めなくなって出て行かれて、そうすると誰も集まらないんですね。本当に役員だけという感じに。これはやめてしまおうということで、最近はその若い方たちが皆さんで考えを出してくださって、そうですね、この9月には音楽祭、東淀川高校とコラボで音楽祭をするんですね。町会の組織で音楽祭をしたりとか、8月には自敬寺さん、お寺があるんですけども、そこの地藏盆とコラボで理科実験教室をしたりとかゲームをしたりとか、それから京大の先生に来ていただいて天体観測のお話をしてもらったりとかというふうに、何かいろいろと、この10月にはまたハロウィンをしたりとか、それを町会単位でお金も使わずにできるっていうのが、すごく若い人たちってすばらしいなっていうふうに思っております。その中に入れさせていただいて細々とお手伝いさせていただいてるんですけども、でもやはり何か考えてはることが我々の世代とは違う感じで、すごくいいなと。これからどういうふうに町会がなってくるのかって楽しみなんです。うちの町会、1か月150円なんです、町会費が。年間1,800円。それも100世帯切れたんで

す。その貴重な財源で皆さんがお金をいかに使わずにいろんなことがどうしたらできるっていう。盆踊りのときに売店出してみたりとか、何か自分たちで稼ごうじゃないかみたいなのところ辺やら、それから地域の皆さんのその持つてる力を利用させていただいて、お金を使わずにいろんなことができないかっていうふうなことを考えるすばらしい力をお持ちだなというふうに感心して見ております。そういう地域がたくさん増えればいいなと。たまたまうちは区画整理で年齢のいった方がいらっしゃらなくなったという、そういうあれもあるんですけども。

○山本議長

ありがとうございます。先ほど出てました渡邊邸というのは、大江山の鬼退治の渡邊綱の。

○大屋委員

そうです。渡邊綱のあれです。

○山本議長

そうですね。そういう歴史あるまちということで、先ほど鈴木さんも言ってはりましたように、その子どもさんも楽しめるようなイベント、大きなイベントじゃなくて、その月1回あるようなものとか天体観測とかね、そんなん、すごいいい発想ですよ。大屋さん、ありがとうございます。

副議長、湊さん、お願いいたします。

○湊副議長

湊です。こんばんは。ちょっとすみません。まとまりがないのですが、いろいろ申し上げたいと思いますが、まず、その資料の立てつけとして、これ説明あったように、2025年のビジョンがあって、今回2029年のビジョンになってるわけですね。大体2025年で掲げたものがこうで、その結果がこうで、ここをこうしていかなあかんから29はこうしてますという立てつけになってると思うんですけど、こういう計画組みってね。ちょっとその関係がそもそも私よく分からないんですよ。確かに

現状と課題って書いてあるんですけど、じゃあ、2025年のビジョンで取り組んだことはどうだったのかっていうようなところが、本来はもうちょっとあってしかるべきかなと思ってます。というのが、これは5ページのところに3つの柱というのがあってあるんですよね。これ2025のビジョンって、実は3つの柱じゃなくて4つの柱なんですよ。「区民が利用しやすい区役所づくり」というのが4本目の柱で書いてあるんですね。これ今回ないじゃないですか、それが。ここの29で消えてるでしょう。いや、私はそのことの是非は、皆さん、いろんな御意見があって出してったらいいと思うんですけど、例えば区役所側から、じゃあ、25から29にするに当たって、この4本目の柱を消したのが何でなんやとか、そういう説明も一緒になかったら、私はあかんのかなという、ちょっとごめんなさい。立てつけと説明の問題でどうなんだっていうふうにまず思ってます。

○山本議長

それ、まず1点聞いてみましょうか。どうなんでしょうか、今のお話。今の4本目の柱が消えてしまってるのはなぜかという話。全体会議とかでは、ずっとその4本の柱のいろいろアウトカム指標やら課題やら施策やらいろいろやってきてますけれども、今回なぜ1つ消えてしまったのかという御質問でございますけれども。

○米田政策企画課長

ご質問ありがとうございます。確かに将来ビジョン2025は4本の柱となっておりまして、4つ目の柱として「区民が利用しやすい区役所づくり」がございました。区民の立場に立った区政運営ですとか、窓口サービスの向上というところを掲げておりました。これに基づいて運営方針も策定しておりまして、窓口サービスであれば、例えば覆面調査で星を2つ獲得するとかそういうアウトカム指標だったんですけれども、指標の達成状況については7月の区政会議において運営方針の振返りのときに達成しているということを報告をさせていただいたところです。

この区民が利用しやすい区役所、もちろん大切なんですけれども、ビジョンに掲げ

て行うというものか、将来像として定めて行うというものかというところで立ち止まって考えましたときにですね、これは最低限区役所としてできてないといけないことなのではないかというふうに捉えました。内部で議論しましたときに、ストレッチ目標といいますか、ちょっと背伸びをして、これからめざしてやっていくというところに掲げるものかというところの視点で考えますと、将来めざしていくというよりは、これはもう最低限、区民の方々に提供しないといけない、できていないといけないことという位置づけではないかということになりました。また、今までも取り組んでまいりまして、少しずつサービスの向上とか取り組んでおりまして、毎年研修とかもさせていただいて、そこは一定ステップを踏んできているというところもありますので、今回外させていただいたということになります。

○山本議長

ありがとうございます。湊さん、そういうことなんですけれども。できるだけその14ページ、15ページ中心に、またお願いいたします。

○湊副議長

もちろん。今のところ、そのことはそのことで分かりました。

14、15のところで言いますと、とはいえ、ちょっと全体にも当たる話なんですけど、これ、めざす状態という表現といいますか、どう言ったらいいんでしょうね。これすごく曖昧なんですよね。もちろん曖昧なんですけど、ここをめざしたいということとでこういう表現があっていいとももちろん私も思ってるんですけど、ただやっぱりそれに加えて、その数的な目標を何か掲げられないのか、掲げたらむしろその数字が独り歩きしてよくないのかとか、何かそこら辺の議論が実はいるのかなと思ってるんですね。例えば、この地域コミュニティの活性化というところで、今、西尾さんとか大屋さんからもありましたお話を踏まえたときに、私、町会の加入率とか加入戸数ということが適切な指標かどうかというのはちょっと分からんと思ってるんですけど、だって外の御協力の方がいっぱいあって例えば回ってますとかいうこともあるわけだ

から、ただ何がしかそのめざす目標数値みたいなことはあって、そこをどう達成していこうかみたいな尺度もあったほうがいいんじゃないかなと思うんですよ。これ状態の判断で、人によってもどうとでも解釈できるみたいなことになってしまいがちなんでね。例えば、この2の魅力的なまちづくりの推進ということも、私も何の数的目標がじゃあ正しいのかって、なかなかぱっと思いつかばないんですけど、例えば人口が減ってる中で、十三駅の乗降客数みたいなことを置いたらいいのかなのかとか、商店街で例えば空いてる店舗の数が減って、営業してる店舗数が多いほうがいいですねとか。でも何かその数的な目標はやっぱり区役所としても持ってほしいなという思いはあるし、そこを議論されたのかどうかというのは気になってます。ごめんなさい、長くなって。もともとアンケートの調査結果をアウトカム指標として使ってたものが、本庁からそもそもそれが適切なのかどうかという経緯があって使うのをやめたっていうのは聞いてますから、それではなくなってるというのはよく理解できるんですけども、ただ「状態」ってやっぱりすごく曖昧なので、もう少し何か明確に、ここをめざしてやっぱり進捗管理できますとかっていうものがあったらよいなと。ちょっとごめんなさい。皆さんとはもう全然違うところから意見させていただきました。以上です。

○山本議長

湊さん、ありがとうございます。もっと目的とか目標を決めてっていう、今御意見でございます。今後また考えていただければなと思います。

ちょっと時間も押してきましたので、この議題1、将来ビジョン2029、これの意見交換はここまでとしたいと思います。

それでは、議題2、防災を通じたコミュニティ力の向上をテーマとした意見交換、についてということで、区役所より御説明のほう、よろしくお願いいたします。

○瀧谷政策企画課担当係長

進行役の瀧谷です。私のほうから少し説明させていただきます。

前回のコミュニティ力向上部会におきまして、防災を通じたコミュニティ力の向上をテーマとして意見交換をしていただいたところですが、その際に、次回の部会でも引き続き同じテーマで意見交換をしたいということになっておりました。ただ、コミュニティ力向上部会ですので、単に防災について議論をいただくよりも、地域防災活動をはじめとした地域活動を通じて地域コミュニティ力を向上させるためにはといった観点から、委員の皆様にて意見交換をしていただきたいと存じます。

そこで、まずは話題提供としまして、今回、新北野の西尾委員より、令和6年度に改訂されました地区防災計画について、お手元の資料2につきまして、簡単に御紹介をいただきまして、意見交換に入っていただきたいと思います。

それでは、西尾委員、よろしくお願いいたします。

○西尾委員

それでは、令和6年に改訂いたしました新北野地区防災計画について、少し説明をさせていただきます。コミュニティ力向上部会ということなので、防災だけにかかわらずお話ができればと思っています。

この配布を昨年いたしましたときですね、このまま冊子を班長さんやら役員さんに、郵便受けとかお宅に渡していただくと、ポンとその辺に置いてそのままになっちゃうとあかんと思ひまして、これは今、区役所の封筒ですが、このような封筒をたくさん買いまして、この中にこの冊子と、そして私からのお手紙、この冊子をつくるに当たって、去年は阪神淡路の30年ということもありましたので、そういうことも鑑みて一応このお手紙を書いたものを全部テープで貼って封したものをお入れしました。そうしましたら、今までお顔しか知らなかった方々に、「見たよ、手紙も読んだよ」って言っていただいて、そして、「避難所の中の備蓄品なんかも少ないね」とか、「あんなんで大丈夫かな」とか、「本当に助けてくれるか」とかいろんなことを話せるようになって、今までよりいろんな方とお話しするようになったなということを感じました。

それでは始めてまいります。

まず表紙ですが、新北野、地域で50年ほど前に地域の方々が寄附をされて、神社をつくったんですね。そのときにつくりました「だんじり」、うちの地域では一番これを大事にしてまして、表紙としております。「だんじり」は、区民まつりのみこしパレードでも、子どもたちが屋根の上に上ったりして踊ったりしながらパレードをさせていただいております。

次のページです。次のページの大きな枠になります。「守る、みんなのいのち!」、これは、淀川区役所から防災計画の作成支援のために手配いただいたアドバイザーでありました関西大学社会安全学部の近藤教授によりまして、いろいろみんなと検討を重ねましたときに、私たちにいつも一番大事にしてることはこの言葉なので、この言葉を一番大きく見えるところに置こうということで大きい文字にさせていただいて、周りを囲ませていただきました。

そして、19ページ、21ページのところを見ていただきたいんですが、19ページには防災訓練の様子、そして21ページには、この制定に関わった地域の役員などの委員の言葉を入れました。そして、あと地域本部と役所の間の連絡手段ですね、そういうものも中に入れております。そして各町会で集まる避難所、一時避難所ですね。そこに関しましては、難しい名前の駐車場なんかでも、その方の家の駐車場って言ったら分かるので、その名前に変えたりとか、そういうのをやったり、それから皆さんで歩いてみたりしながら避難経路などを考えてやりました。

そして、これをやったことで、やっぱり一番コミュニティ力が少ないなというか、近頃地域の町会にも入ってくださる方も少ない、若い方がたくさんいらっしゃるのに町会に入ってこられないなと思うとワンルームマンション。先ほど大屋さんもおっしゃってましたがワンルームマンションもすごく多く建ってます。このたび国勢調査で担当の者がいっぱいいろんなところへ行って、またマンション、オートロックで入れなかった、それはみんなワンルームマンションとかが多かったです。そういうのが増え

てきて、だんだんコミュニティ力がなくなってきているのではないかなということを感じています。

この防災計画を見ましたところ、私たちも一生懸命やってつくったんですが、本当にこの先生のアドバイスがよくて、もう皆さんが毎回一生懸命意見を述べてくれました。そしていろんなことを決めましたし、本当に取りこぼしのないようにお一人お一人を助けに行く。一時避難所にまずは集まって、そのとき集まった中から元気な人が来られてない方を見に行く。そういうふうなことも決めました。そうやって皆さんでコミュニティ力を強くする。そして若い方々を横のつながりで入れていただくというようなことを考えました。この間も敬老の品物をお届けした、うちの場合は中学校しかないもんですから敬老会をやれないので、お祝いの品物を私たち各町会の役員が配って歩くんですが、うちの町会にも大きなマンションがあるんですが、そのマンションの理事長さんがおっしゃいました。個人情報で名簿がもらえないので、15年住んでるけど、150世帯ほどあるんですけど10人ぐらいしか顔知らないのって。ですから本当に、もっといろんな方と知り合いたいんですってということをおっしゃってました。今、本当に個人情報がこれを邪魔してるんだなということを感じています。

今私たち配ったのは町会に入っておられる世帯だけですので、残りまだございますので、少しずつではありますが町会に入っておられない家庭にも配って、全部をはかしていく。はかしていくって言ったらい方おかしいですが、皆さんのお手元に届けて、皆さんでこの新北野地域をうまくいくように、この個別防災計画ということを考えていただきたいと思いますと思って作成をいたしました。

簡単ではありますが、私の説明は以上になります。

○山本議長

いえいえ、西尾さん、ありがとうございます。

それでは、防災を通じたコミュニティ力の向上をテーマとした、先ほどもありましたように、単に防災に関して、防災どんな防災訓練やったらいいとかそういう議論を

するのじゃなくて、先ほどの議題1でもありましたように、将来ビジョンで、その近所同士のつながりとか活動の担い手の固定化とか高齢化の問題とか、そういうことが挙がっていましたので、それについて、その地域の防災活動をはじめとした地域活動を通してですね、そういった課題ということを少しでも解決できるように御発言を皆様から聞きたいと思います。すみませんがよろしくお願いいたします。

そしたら、さっきの逆でいきますか。大屋さん、いけますか。

○大屋委員

今、西尾さんところのこの防災計画のを見せていただいて、新北野地域の防災計画を見まして、文字が大きくて見やすいなと、分かりやすいなっていうのをすごく思いました。

私どもの地域というのが、小学校がこの頃隣の地域とかに行っていていいというか、そういうふうになると、なかなか学校といつも一緒にやってるんですけど、もうすみません、簡単に言いますね。なかなかね、集まって防災訓練をしたりとかもできないですし、それから本当にお隣はどなたが住んでらっしゃるのかっていうのもよく分からない。そういうふうになってきてるので、なかなか災害があったときに避難をするとかっていうのが難しいなというのと、だからふだんいつも地域でネットワークの委員さんたちで、皆さん、見守り活動をしていただいたりして、どこにどういう方が住んでらっしゃるのかな。それにも限界があります。町会に入っていたいてる方がほとんどで、入ってらっしゃらない方はちょっと抜けてしまってるというところ辺でのその辺がちょっと難しいなっていうふうにいつも考えてるところです。

○山本議長

ありがとうございます。

森さん、よろしいですか。

○森委員

私ね、ちょっとこれ話が替わるかも分かんけども、今、万博やられてますよね。

もうあと1か月ちょっとぐらいで期間があるんやけど、淀川区にあの万博で使われた万国旗のポールを先に申し込んで、あれ全部譲ってもらえるようにして、その万国旗のポールをバーベキューコーナーの河川敷の堤防の横に100本ぐらい並べてほしいんです。あれ先に申し込んだほうが廃物利用というか、あと利用できると思う。あの万国旗があるかないかでバーベキューコーナーのにぎわいが全く変わってきます。私は若いときにやはり一番感動したのは、そういうように万国旗のあるスキー場であるとかいろんな地域で、あれがあるかないかで行ってみようかなという意欲が変わりました。だから淀川の河川敷のところにポールを100本ぐらいは最低確保していただいて万国旗をつくっていただくことと、それからあそこを無料じゃなしに有料にさせていただいたらいいと思います。バーベキューをする以上、いろんな設備が必要になる。特にトイレが必要になります。トイレの数が全く足りてません。だから今の倍から3倍ぐらいのお客さんが来ていただいても対応できるようなトイレの数と、それから有料にすることによって後の片づけであるとか管理上の問題ひっくるめた分を無料じゃなしに、ぜひ有料で、私の思案では1人当たり200円から300円ぐらい取っていただいて、延べ何十万人分とかいうように、淀川区の費用の少しでも負担を減らしていただけたらいいと思います。

○山本議長

ありがとうございます。

○森委員

いや何とかね、お金のかかる時代やけども、そういうように万博の後の分を上手に利用する方法とかね、みんなで考えたら、もっともっと淀川区が活気出るかなと、いつもそれは考えておりました。

○山本議長

リサイクルとかリユースとか、そういうことですね。そういうのをやってほしいということですね。ありがとうございます。

お隣、西垣さん。

○西垣委員

特段。

○山本議長

特にないですか、はい。西岡さん、よろしいですか。

○西岡委員

うちの地域は、今これ策定中なんですけど、大体同じことやられてるなとは思っています。うちももう町会、加島地域の中を全部歩いて危険な箇所とか全部調べて地図にして、ちゃんとハザードマップをつくりました。それを多分載せてくれはるやろうと思うてますけども。あと、なかなか防災訓練とか参加されないの、昨年度、加島小学校の日曜参観を利用させてもらって子どもたちと一緒に防災訓練したら、結構皆さんたくさん。

○山本議長

御父兄の方も来られますもんね。

○西岡委員

父兄も来てくれるんですけども、その中に、「何で休みの日に俺ら出なあかんねん」と言う親もいました。そういうアンケートがあって、それはちょっとさみしかったですけどね。ほんま、何で防災訓練なんやから参加せないと。何でそれを邪魔くさい、何で休みの日に出なあかんのや、そういう考え方自体がちょっとおかしかったなというのはアンケートを読んでちょっと寂しかった思いがあります。

○山本議長

寂しいですね、それは。

○西岡委員

はい。一応、若い世代を巻き込むのに日曜参観を利用したということがありました。以上です。

○山本議長

今の西岡さんの話、要するに大災害があったりしたら、親は働きに出てる、子どもは学校に行ってる、ほな引取りの訓練ちゅうのは当然やるべきことなんでね、それを面倒くさいからやりたくないのはちょっといかんですね。

○西岡委員

「何で休み潰すねん」とかいう意見やったんですけど。

○山本議長

それは本当残念ですね。

そしたら、西尾さんは先ほどしゃべりましたというか、鈴木さん、お願いします。

○鈴木委員

ありがとうございます。新北野の防災計画、すごく見やすいなと思ったのと、6つの要点は実際に初動時にも分かりやすく、来ていただいた方にも見ていただけるのかなと思いました。

今回、部会開催に当たって資料を頂いたときに、少し淀川区のことでちょっと考えてみたんですけども、やっぱりコミュニティをつくらないといけないというところで、淀川区で今廃校になるところがあると思うんですけども、廃校がみんなの広場とか居場所になるようにということで廃校を生かした多機能型の切り替え機能のある防災拠点というところを御提案してみたいなと思いました。廃校が負の財産ではなくて新しい財産になっていくこともそうですけれども、収益事業として活用することによって施設自体を持続的に使えていけるのかなというところと、ふだんから例えばバザーをやったりとか宿泊施設、レンタルオフィス、カフェというところで、地域の方々が使えるような建物、場所にしていただいて、災害時のときには、これが全て防災の拠点となるようなルールづくりをすることによって、災害が起きたからこれをつくりましょうではなくて、もともとできている施設を災害時の施設として有効活用ができるのかなと思いました。

森さんの意見でも、いただいた万博で使ったものなんですけれども、あれで言うとトイレであるとかも廃校のグラウンドに置くことによって災害時には十分にトイレで機能すると思います。そういうところも含めて、廃校をどういうふうに活用していくかというところで、私はみんなが集まれるような場所、施設になって、それがまた思い出のある人は思い出のある場所で、新しく来た人には新しい遊び場になるようなところにしてはどうかと思いました。

もう一つが、今、外国ルーツの問題が私たちの近くでありまして、コミュニケーション取れていないので災害時のときに、大屋さん言っていたみたいに隣に誰が住んでるか分からないっていうところで、あんまりコミュニケーションが取れていない状況で、いろいろ御相談あった中で、まずは外国人の方とも関わっていこうというところで、その最初に始めるのが一緒に御飯を食べて、一緒におしゃべりして顔見知りになって、その次のステップとして災害が起きたときに、こういうふうにしたらいんだよというのをお互いに協力できるような地域をつくっていこうかなと思って少しずつやってるので、またいろんな御意見があったら教えていただきたいなと思います。

○山本議長

すばらしい御意見をありがとうございます。廃校を利用する、何か最近いろいろそういうことをやっておられますね。教室を食堂にしたりとか、また今言うように防災拠点にもできるというメリットがあると。

あと、外国人のほうは、ちょっと言葉の壁ちゅうのがやっぱり弊害になってくるのかなというふうに思いますね。でもすばらしいと思います。ありがとうございます。

湊副議長。

○湊副議長

ありがとうございます。まず、今月のよどマガ！がすごくいいなと思ったんです。津波避難ビルの募集の告知がちゃんとされているなと思って、これがすごくいいなと思いつつ拝見をしておりました。

という上でということなんですけれども、さっき西尾委員からも御説明があったように、例えばこんな備蓄で足りるのかなというような、いろんな御覧になった方からの意見とか出されたということで今あったんですけれども、結局西岡さんからもさっきあったように、何で休みの日にこんなことせなあかんのやって声が出るのって2つあると思うんですけど、やっぱり想像力をもうちょっと働かせてほしいなと。言うたらちょっと上からになるんですけど、もう一個あって、知らないということだと思うんですよ。つまり災害が起きたときに、じゃあ避難所ってどう運営されてるのか。結局、地域の有志の方が御自分も被災されてる中で、でもその地域守るために役を買って出て回すんですよっていうことを知らないんじゃないかなと。あるいは、例えば防災の備蓄の数量にしたって、この部会でも何回か話出てると思うんですけど、結局倉庫にも数は限りがあるわけですから、その小学校、中学校でもそうだし、区役所としても結局限られた分しかストックできてないということがあるわけですけど、多分それを御存じない方のほうが圧倒的に多いんじゃないかと、想像ですけどね。ということは、備蓄がなくても、災害が起きたら結局自衛隊とか来て炊き出ししてくれるんでしょうみたいな、やっぱりそういう安易なと言ったらおかしいんですけど、そういう甘い捉え方をしてる人が結局ほとんどの可能性があるなと思うんですよ。だからやっぱり実態を知っていただくということにおいて、当然地域のいろんな町会さんでもいろんな御努力されてるわけですけども、今日もるるあったように、結局町会に入っではらへん人に人海戦術で一人一人に伝えに行くんですかって言ったら、それは関係つくる上では重要だと思うんですけども、どこまで地域の方に背負わすねんて話になっていくと思うんですよ。

ですから例えば、淀川区の防災ラインって重要なことしか流しませんよって、ふだんは発信しませんよって書いてあるんですけど、でも例えば9月は防災月間なんだから、区役所の備蓄ってこれだけしかないですよと。だからまずやっぱり御自分でね、備えていただくということをせめて9月ぐらい意識してやってほしいとか、そういう

発信ぐらいはね、年に1回ぐらい、私は例えばしてもいいんじゃないかなと。

話が長くなってますけど、まとめると、やっぱり実態を知らせるところから参加してもらおうというところにどうつなげるかと。もう地域の方、ほんまにいろんな御努力されてると思うので、区役所もいろいろ御努力されてると思うんですけども、もう一歩何か行政だからできることっていうことで、さらにこの動きを後押ししていただいたらいいなと思ってます。

その点でちょっと1個だけ情報共有しますとね、私、イズミヤというスーパーマーケットの会社で、今、週に2、3回ぐらいの勤務でちょっと掛け持ちで働いてるんですけども、西淀川区の福駅の近くの商業施設で毎年2回、屋上を使って防災車両とかそういうものの展示と、それから区役所の方も出張ってこられて、いろんな防災の、例えばアルファ米食べてもらうのもあったかな。ちょっと今、ど忘れしましたが、そういうような区役所の方も出向かれて防災のことをお伝えするみたいな、そういうイベント事をやってはるんですよ。淀川区でも、例えば区民まつりとかいろんな機会を捉えて既にやってはることもあると思うんですけども、そういう新たな取組をプラスしていただけると、さらに伝わるその接点になるかなと思って、一応御紹介だけさせていただければと思います。以上です。

○山本議長

湊委員、ありがとうございます。今あったように、区民まつりとかで自衛隊とか消防のブースなんかも出てたりするんで、何かアトラクションみたいなのをやればええんかなみたいな、防災に関してね。

○湊副議長

いろんな接点ができたらと思います。

○山本議長

そういうので親しみ持っていただいたらいいかなとは思いますが、言っても関心のない人をこっち向かすというのは非常に難しいことですよね。西岡さんも本当に

残念がってましたけれども。

うちも今、この防災計画をつくってるんですけども、一つその西尾さん言ってはったように、うち全戸配布めざしてるんで、やっぱりポンと入れるんじゃないくて、そういうお手紙入れたりとか、分からないところはどこどこへ聞いてくれとか、そういうふうな手紙入れたほうがいいなとか、それはまた参考にさせていただきたいなと思いました。

○西尾委員

私、だから福祉会館の電話番号と私の名前と書いて。

○山本議長

そうですね。そういうのあったほうがいいですね。すごい参考になりました。議長で会仕切ってるのに得ることばかりで申し訳ないんですけども。

あと、ちょっと話替わりますけど、うちは22町会という町会の数があるんですけども、一つの町会の町会長がちょっと一身上の都合で、もう町会長できないんだと。そこで町会の方に会議開いて説明すりゃいいものを、回覧板で誰かほかやってくれませんか、ほかやってくれへんのやったらもう町会たたみますみたいな、そういうのがあったんですね。結局、防犯カメラのメンテナンスとか電気料金とか、そういうのを今後どうすんねんとか、あとコミュニティ回収やってるわけですから、古紙回収とかそういうの、アルミ缶とか。そういうのは自分らでやるんかとか、あと町会の残余財産をどうやって分けるんやとか、そういう説明一切なしで町をやめます、潰しますみたいなことが出たんで、やっぱりそこでね、やっぱりある程度40代、50代ぐらいの方が組まれて、今後どうしていくねんという、それはすごく力強く思いました。今でも協議してくれてます。今年1年かけて、この町会をどうしていくんだということを若い方々がやってくれるということで、ちょっと御報告なんですけれども。失礼しました。40分ですかね。

そうしましたら最後の議題になるんですけども、議題3、区政会議における意見

への対応方針について、区役所から御説明をお願いいたします。

○米田政策企画課長

政策企画課の米田でございます。

区政会議においていただきました御意見の対応方針について、簡単に説明させていただきます。

前回の区政会議におきまして、鈴木委員からヤングケアラーにつきまして御意見をいただきました。資料の3に、事前にお送りさせていただいている資料でございますが、資料の3に記載をさせていただいております。

大阪市では、ヤングケアラーのケア負担を軽減する支援策というのがいろいろございます。御意見いただきましたとおり、介護の問題を別途抱えておられたりとか、外国にルーツがあって言語の問題があるとか、複合的な課題を抱えた家庭をどのように把握して適切な支援につなげていくのかというところが大切だと私たちも考えております。様々な課題を抱えた家庭を支援する関係機関は本当に多岐にわたっております。ヤングケアラーを含めまして気になる事案ですね。あの人ちょっと支援要るかな、気になるなっていう情報が区役所に入りましたら、区役所のほうで適切な部署、支援機関へつないでまいります。その後もつながり放しというわけではございませんで、必要に応じて別のところに情報提供もさせていただくとか、進捗状況の共有ですとかそういういったところを行いまして事案の解決を行っています。もう少し具体的にお示しできたらいいんですけども、本当に多岐にわたっているのです、このような包括的な回答になっております。

なおですね、やっぱりそのヤングケアラーに至る前の状況を把握して対応をするということも重要と考えておりまして、アウトリーチの強化を目的としまして、児童とか生徒さんに一番近い関係にある教職員の理解度向上のための取組ですとか、ヤングケアラー自身への啓発、区民の方も含めまして啓発を実施しております。ただ、どのように把握したらいいのかというところは、区役所のほうでもなかなか難しくてです

ね、検討を続けているところでございます。

○山本議長

どうもありがとうございます。

そうしましたら、これ御質問出されました鈴木委員より、何かもう少し詳しく聞きたいとかいうことがございましたら御意見を頂戴いたしたいんですけども。

○鈴木委員

御回答ありがとうございました。いただいて文字でたくさんの説明をいただいたんですけども、例えば見取図的なものに関しては事例で構わないので、こういうときはこういう取組をして、こう流れましたというところが一つでも記入いただくと、もっと分かりやすいのかなというところと、教職員さんにすごく負担がかかってるんじゃないかなと思うところと、市民等に対する啓発を実施していますというところがもう少し細かくいただきたかった。事例としてですね、こういうことですよというのを、私がこの質問出してるんですけど、やっぱりこれを見た方もどうなってるんだろうと思うことがあると思うので、何か具体例的なものが、もうちょっと分かりやすいのかなと思ってます。

今回、いろんな問題を区役所に御相談されたら解決しますというお話だったんですけども、今週から私、ちょっと虐待に近いような事案のことを区役所に相談してますが、2階に行って、その次は3階に行って、本人に連絡して、どうなりましたという進捗はこちらから聞かないと役所からもらえてない状態。また、その進捗が分からないまま週末に入るので、確認したくても担当者の方がお休みで、誰も引継ぎがないので分かりませんという状態でただいまを迎えております。そういう現状に当たってる中で、ちょっとこの回答をいただいてもやっぱり分かりにくいし、納得し難い部分も多いかなっていうところがあるのが今回の率直な意見です。ありがとうございました。

○山本議長

ありがとうございます。今の件に関しまして、区役所のほう、また若干の改善等が必要かなと思いますが。

○米田政策企画課長

すみません。大変ちょっと申し訳ないような状況になっているというのは受け止めて、担当の課にもお伝えします。また事例を記載というところもご意見いただいております。この場でお返しできなくて申し訳ないんですけど、ご意見を受け止めて共有してまいりますのでよろしくお願いいたします。

○山本議長

ありがとうございました。

この課題とは関係ないですけど、消えた4番目の窓口サービスのことも関わることかなと。僕、マイナンバーのことで1回来たんですけど、何かすごいけんまくで怒ってはる人がおられて、誰々さんは何かの書類は、これは必要ないから持ってこなくていいっていうふうに言われたのに、窓口でその書類の提示を求められてるということで20分ぐらい、僕次やのに終わってくれへんみたいな、そういうことがありました。だからちょっと縦割りのちょっと弊害があるのかなというふうな、その連絡、情報の共有みたいな、そういうのがもっとスムーズにできるような区役所であってほしいというふうに思いました、今。

湊さん、何かここで意見ありますか、ヤングケアラーの。特にないですか。

○湊副議長

全ておっしゃっていただきました。

○山本議長

分かりました。

それでは、次第の3、事務連絡・その他について、区役所からございましたら、お願いいたします。

○瀧谷政策企画課担当係長

進行役の瀧谷です。区役所より事務連絡です。

今回の区政会議につきましては、11月下旬頃から12月上旬頃に第2回目の全体会議の開催を考えております。本日配布しております区政会議の日程調整の分を、次期もされる委員の方に今調整表をお渡ししてますので、9月30日までにお手数ですが御提出いただきますようお願いいたします。

また、本日の会議で時間の都合上、御発言ができなかった御意見や御質問がございましたら、これもお手数ではございますが、お手元の御意見票に記載の上、同じく9月30日までに事務局宛てに郵送かメール、ファクスにて御提出をお願いいたします。なお、郵送の際は返信用の封筒を御利用くださいませ。

事務局、区役所からは以上でございます。議長お願いします。

○山本議長

ありがとうございます。

そうしましたら以上で、本日の議題は終了となります。

今もありましたように、ちょっと言えなかったことがございましたら、その御意見票を利用して、また区役所に問い合わせさせていただきたいと思います。

それでは閉会の前に、本日この部会をもって1期2年の区政会議は終了となります。1期2年の方もおられると思うんですけども、10月から引き続き委員をされる方が、予定がいらっしゃるかと思いますが、節目となりますので、まず副議長から順番に、この1期2年の御感想とかでもあればお願いいたします。

○湊副議長

皆様、お疲れさまでございます。いろんなことを言わせていただく中で、区役所さんも真剣に受け止めてくださって、改善、改善と言ったら偉そうですけど、変えてくださったことも、この2年の中にたくさんあったなというふうに思ってます。

それと、全体の会議の中でもいろんなこと勉強になったなと思ってるんですけども、特にこのコミュニティ部会は、もう本当に地域の第一線で動かれてる皆様のお話

をいっぱい聞かせていただいて、自分の仕事であつたりとか、あるいは自分がまた発信するときに、ああ、こういう観点もあるなっていうことがよく分かりまして、本当にお世話になりましたということだと思っております。ありがとうございました。

○山本議長

湊委員、ありがとうございます。

順番に、そうしたら鈴木さんからぐるっと。

○鈴木委員

ありがとうございました。初めて参加させていただいて分からないことも多かったんですけども、あっという間に終わったなというのが正直なところと、ふだんの住民では見えていないところで皆さんがこうやって一生懸命いろいろ私たちのためにやってくれているんだなということを実感させてもらいました。ありがとうございました。

○山本議長

ありがとうございます。

西尾さん、お願いします。

○西尾委員

私は何回か区政会議の委員をしておりますが、ずっとコミュニティ力向上委員会、これ向上部会ですね、これに関わっています。なぜかというと自分の地域をよくしたいから、もっとなると思って、もっと小っちゃい話ができると思ってたんですけど、それはずっとかなわずですね。でも少しずつ皆さんが同じようなことを考えてらっしゃるというのが分かってきましたし、私なんか及びもつかないような意見をたくさんお聞きして、すごく勉強になったなと思います。今後もまた続けていきたいと思うので、どうぞよろしく願いいたします。

○山本議長

ありがとうございます。

西岡さん、お願いします。

○西岡委員

私は今年度で任期が終わります。いろいろお世話になりました。西尾さんも言われたように、ほかの地域の方がどういう取組されてるかというのを知りたくて区政委員に立候補してというか、次やりますということで始めたんですけども、皆さん同じような悩みを抱えてるので、なかなかその解決策というのはやっぱりここでは見つけることができなかったですね。でも皆さん、いろいろ取組されてるということで、努力されてるということがよく分かったので、実感しました。ありがとうございました。

あと、このところで申し訳ないけど、来月から国勢調査始まりますけど、僕のところに国勢調査を受けないと罰金取られますという詐欺メールが届いてたんですよ。もう既にそういうのが出回っているんで、皆さんお気をつけください。いろいろお世話になりました。

○山本議長

お疲れさまでした。ありがとうございます。

西垣委員、よろしくお願いします。

○西垣委員

どうもいつも会議させてもらって、いい勉強させてもらっておりますけれども、本当にこういうふうな意見、多数あるないうことで町会に返って報告させてもらっておりますので、本当にいい意見があったなと思っております。ありがとうございました。

○山本議長

お疲れさまです。

森さん、お願いします。

○森委員

長い間お世話になりました。4年間でした。この会に出席させていただいたおかげで、いろんな情報とか知識を得させていただきました。ありがとうございます。

私はまだまだこう言い足らん分もあったし、あるいはもっと教えていただきたいこともいっぱいあったんです。淀川区にやはり住んで、大阪24区の中で一番やと。新大阪もあれば十三もある、あるいは一番宝である淀川がある。この淀川の利用の方法をさらにいろんな大きい目で見たら、国からの許可も要るか分かんが、淀川を利用することによって、ますます住民がプラスになる。あるいはあそこを全部蓋して駐車場にしたらどういうことになりますかね。大阪市がどれぐらいのお金を取って、淀川区にどのぐらいのお金を落としてくれるのか。いろんなことを考えてみましたが、やはり一番大事なのは淀川とか神崎川に挟まれたこの地域をどうしたらいいのか。我々住んでる住民が、「ああ、ここに住んでよかったな」と言えるような政策を、ひとつ皆さん方若い人たちで頑張って実現していただいたら、私が生きてる間に見えたらありがたいことだと思っております。ありがとうございました。

○山本議長

ありがとうございました。お疲れさまです。

大屋委員、お願いします。

○大屋委員

お世話になりました。もう今日で終わりなんです。本当にいろいろと皆さんから教えていただくことがたくさんあって、ありがたいなと思っております。ちょっと家庭の事情で。

○山本議長

前期のね。

○大屋委員

そうなんです。後半ちょっともうよく出れないときのほうが多かったですけれども、本当にいろいろとお世話になりましてありがとうございました。皆さん、またこれから頑張ってくださいませ。

○山本議長

大屋さんも頑張ってください。まだまだ。

○大屋委員

頑張ります。

○山本議長

最後になりますけど私から。私も地域の役員やっている以上、西岡さんと同じで、ほかの地域、その担い手とかどんなことをやってるんだろうなとかいうことをもっともっと深く詰めてやりたくて結論まで導きたかったんですけれども、そういうことができず、西岡さん、本当に申し訳ございませんでした。至らぬ議長でございましたけれども、僕は2期4年やらせていただいたんですけれども、今後ともこのコミュニティ力向上部会を通じて、淀川のまちがよくなっていくような御意見を皆様から頂戴できればなと思っております。本当に皆さん、御苦勞さまでした。ありがとうございます。お疲れさまです。

そうしましたら、事務局へマイクをお返しいたします。

○瀧谷政策企画課担当係長

山本議長、議事進行をありがとうございました。

委員の皆様、本日貴重な御意見、また御挨拶ありがとうございました。

以上をもちまして、淀川区区政会議コミュニティ力向上部会を終了させていただきます。

長時間にわたりまして、ありがとうございました。